

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年5月21日)

- 1 公共交通機関のゴールデンウィークの利用状況について 【交通政策課】・・・1ページ
- 2 県内の国内航空路線の利用者に対する支援策について 【交通政策課】・・・2ページ
- 3 鳥取環境大学の入試実施状況と就職活動状況について【教育・学術振興課】  
・・・3ページ
- 4 鳥取環境大学まちなかキャンパスの開所について【教育・学術振興課】・・・4ページ
- 5 ファブラボとっとり キックオフシンポジウムの開催結果について  
【教育・学術振興課】・・・5ページ
- 6 鳥取・兵庫両県往来氷ノ山交流登山ツアーの実施について  
【東部振興課】・・・7ページ

地 域 振 興 部

# 公共交通機関のゴールデンウィークの利用状況について

平成 26 年 5 月 21 日  
交通政策課

公共交通機関のGWの利用状況は以下のとおりでした。

## 1 集計期間

平成 26 年 4 月 25 日～5 月 6 日

## 2 搭乗者数及び搭乗率

### (1) 全日空

ANA 鳥取－東京便（5 便／日）

搭乗者数	11,528 人（対前年 102.6%）
搭乗率	59.1%（対前年△8.7 ポイント）

ANA 米子－東京便（6 便／日）

搭乗者数	15,386 人（対前年 98.3%）
搭乗率	53.5%（対前年△21.5 ポイント）

### (2) スカイマーク ※公表は全路線合計のみ

・米子発着全路線計 搭乗者数 18,050 人（搭乗率 53.1%）

### (3) JR 西日本（利用者数の前年比）

- ・やくも号 89%
- ・サンライズ出雲号 94%
- ・スーパーはくと号 92%
- ・スーパーいなば号 91%
- ・はまかぜ号（山陰本線：岩美～鳥取）125%

### (4) 日交バス（高速）（1 便あたり利用者数の前年比）

・鳥取－東京便 102%、大阪便 93%、広島便 96%、福岡便 90%

## 3 近く実施予定の主な利用促進策

- ・新千歳空港での路線 PR、札幌市内メディア訪問、旅行会社訪問（6/6,7）
- ・茨城空港で倉吉商工会議所を中心に路線 PR（6/14,15）
- ・那覇空港での路線 PR、那覇市内メディア訪問、旅行会社訪問（6/20,21）

## 4 利用状況の分析

- ・今年のGWは、前半が飛び石となり長期休暇が取りにくかったため、全体的に各交通機関の利用者数が少なかった。
- ・やくも号、ANA 米子便は、スカイマークとの競合により利用者数が伸びなかった部分もあると思われる。
- ・ANA は、鳥取便・米子便とも搭乗率は昨年比べて低いものの利用者数は横ばいであり、各増便に追いついていない状況にある。（昨年のGW時期は、鳥取 4 便、米子 5 便）

## 県内の国内航空路線の利用者に対する支援策について

平成26年5月21日  
交通政策課

県内の国内航空路線の利用者に対する支援について、昨年11月からの実施状況等も勘案し、支援対象を拡充して以下のとおり実施しております。

### 1 募集期間

平成26年5月1日（木）～平成27年3月20日（金）

### 2 搭乗対象期間

平成26年5月7日（水）～平成27年3月31日（火） ※年度内に旅行期間が終了するもの。

※ただし、子育て王国とっとりキッズエアサポートの搭乗対象期間は、平成26年5月7日～同年6月30日、同年11月25日～平成27年3月31日（12月27日～1月4日を除く）とする。

### 3 対象となる便

鳥取空港及び米子鬼太郎空港を発着する国内便

### 4 募集区分及び助成対象者

#### (1) 移住定住促進

鳥取県内への移住を希望する者、県内で開催される婚活イベントの参加者、鳥取県内就職希望者

#### (2) 企業活動等

県内で開催予定の会議の準備者、県内企業等の視察者、県内単身赴任者の家族 等

#### (3) 介護・障がい者

県内の要介護者の介護のために来県する者、県内在住の障がい者

#### (4) 子育て王国とっとりキッズ

小児運賃が適用される子ども（大人同伴）及び65歳以上の同伴者

### 5 昨年度からの主な拡充事項

(1) とっとり暮らしを体験する初めての来県を対象（昨年は移住目的の来県実績がある方が対象）に追加

(2) 婚活イベントへの参加を対象に追加

(3) 鳥取県内在住の障害者手帳所持者を対象に追加

(4) 子どもと同伴搭乗する65歳以上の方を対象に追加

(5) 大人同伴で同乗し県内宿泊する県外在住の子どもを対象に追加

### 6 制度の主な周知方法

(1) 鳥取県公式ホームページ「とりネット」交通政策課ホームページ上での掲載・周知

(2) 鳥取空港及び米子鬼太郎空港でのチラシ配架による利用者への周知

(3) ふるさと鳥取県定住機構、福祉関係施設等でのチラシ配架及びホームページによる周知

(4) 移住関係雑誌や子育て王国とっとりメールマガジン等での制度周知

### <参考>昨年の実績（認定ベース）

単位：件

募集区分 (搭乗日)	移住定住	企業活動	介護	キッズ	合計
11/18～30			1	20	21
12/1～31				88	88
1/1～31	2			52	54
2/1～28	1		1	23	25
3/1～31	4		2	66	72
合計	7	0	4	249	260

## 鳥取環境大学の入試実施状況と就職活動状況について

平成26年5月21日  
教育・学術振興課

### 1 入試実施状況

- ・公立大学としての認知度が高まり、志願者及び入学定員充足率の目標を達成した。  
 <志願者> 年次目標：定員の2倍以上 → 実績：8.1倍  
 <入学定員充足率> 年次目標：100%達成 → 実績：100%以上
- ・公立化に併せて新設した経営学部の認知度も高まり、環境学部並みに受験者が増加した。
- ・一方で、全国から多くの学生が受験したため、相対的に県内の入学者が減少した。

学 部	環境学部		経営学部		合計	
	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度
募集人員	138名		138名		276名	
志願者数	1,051名	632名	1,178名	371名	2,229名	1,003名
(うち県内)	(80)	(54)	(153)	(96)	(233)	(150)
志願倍率	7.6倍	4.6倍	8.5倍	2.7倍	8.1倍	3.6倍
入学者数	153	150	179	145	332	295
(うち県内)	(9)	(17)	(31)	(47)	(40)	(64)

#### ○鳥取環境大学中期計画における志願者及び入学定員充足率の年次的目標

##### <志願者>

毎年度定員の2倍以上の志願者を確保

中期計画中間年度(平成26年度)までには志願者総数1,000人(3.6倍)以上を達成

中期計画最終年度(平成29年度)までには志願者総数1,380人(5倍)以上を目指します

##### <入学定員充足率>

毎年度100%達成

### 2 就職活動状況

- ・就職アドバイザーによる企業開拓や学生指導、マッチングなど様々な就職支援により、内定者数は昨年度より増加したが、希望者も多かったため内定率は92.6%に減少した。
- ・なお、4月以降も引き続き未内定者に連絡を取って相談対応を行っており、8名中3名の就職を確認している。

	平成25年度	平成24年度
卒業者	123名	126名
就職希望者	108	103
(うち鳥取県内出身者)	(67)	(61)
内定者	100	97
(うち鳥取県内企業へ内定)	(42)	(45)
内定率	92.6%	94.2%
全国国公立大学平均	96.7%	95.3%

(4月1日時点)

#### ○鳥取環境大学中期計画における就職率の年次的目標

H24：全国国公立大学平均値の△3ポイント以内

H25：全国国公立大学平均値の△2ポイント以内

H26：全国国公立大学平均値の△1ポイント以内

H27以降：全国国公立大学平均値以上

# 鳥取環境大学まちなかキャンパスの開所について

平成26年5月21日  
教育・学術振興課

鳥取環境大学の社会貢献をこれまで以上に進めていくため、大学の研究成果をきめ細かく地域に発信、地域のニーズを引き出す地域連携の拠点として、鳥取市の中心市街地にまちなかキャンパスを開設します。

## 1 まちなかキャンパスの概要

【目的】 地域連携のための相談、協議を行いやすくするとともに、鳥取環境大学のPRや中心市街地での地域連携活動の拠点、地域住民や学生、教職員が自由に集う情報交換の場として、あるいは、公開講座開催場所等としての活用を図る。

【活用例】 東部地区プラットフォームの会議等の開催（東部圏域の1市5町及び関係団体と協力して地域連携・貢献活動を推進）  
地域連携のための相談受付（地域連携コーディネーターを配置）  
まちなかでの地域連携の拠点（活動前の打合せなど）  
公開講座、研修会、研究会等の開催

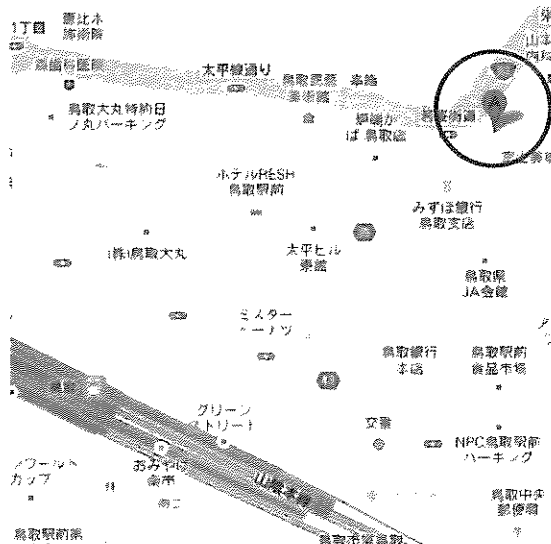
【開所時間等】 平日8：45～17：30 ※夕方や週末のイベント、公開講座等も対応（常駐職員）地域連携コーディネーター及び嘱託職員 計2名

## 2 開所式

【日時】	平成26年6月6日（金）	16：00～16：50
【場所】	鳥取市末広温泉町160 日交本通ビル3階	301号室
【次第】	理事長兼学長挨拶	16：00～16：05
	来賓（知事・市長）挨拶	16：05～16：15
	出席者紹介	16：15～16：20
	まちなかキャンパスの概要説明	16：20～16：35
	麒麟獅子舞	16：35～16：40
	看板設置	16：40～16：50

### <まちなかキャンパス所在地>

鳥取市末広温泉町160番地  
日交本通りビル3階301号室  
(若桜街道と末広通りの交差点)



※ネオン看板設置



※横看板設置

# ファブラボとっとり キックオフシンポジウムの開催結果について

平成26年5月21日  
教育・学術振興課

話題の3Dプリンタなどのデジタル工作機から、ノコギリやカンナなどのアナログな道具までの多様な工作器具を備えた、自由に何でも作ることができる環境の中で、若者の創造力を育む実験的な市民工房「ファブラボとっとり」(※)を、先導的に鳥取市のまちなかに開設し、5月17・18日にキックオフシンポジウム(オープニングイベント)を開催しました。

※ファブラボ(FabLab)の「Fab」は「Fabrication(ものづくり)」と「Fabulous(素晴らしい)」という2つの意味が込められた造語で、「Lab」は「Laboratory(実験室)」の略。  
※2013年現在、世界50か国以上に200カ所以上のファブラボが存在。国内は鳥取が8番目。

## 1 FabLab ととりの概要

次世代の、市民レベルの自由な発想による、ものづくりインフラであるファブラボを、日本初の子どもの中心の屋根瓦教育方式で常設運営します。※屋根瓦教育方式:教えられた人が他の人に教え学ぶ教育。

- (1)場所 鳥取市文化センター1階(3階の鳥取ものづくり道場(こども科学館)と一体使用)
- (2)運営 ものづくり協力会議(環大・短大・高専等産学官で構成、事務局鳥大)が県受託で実施
- (3)職員 専任職員2名(Fabマスター(技術統括)1名、Fabスタッフ(事務運営)1名)

## 2 キックオフシンポジウムの概要

- (1)月日 平成26年5月17日(土)・18日(日)
- (2)場所 鳥取市文化センター(吉方温泉三丁目701番地)
- (3)内容

ファブラボ見学ツアー 12:40~13:10 (参加者約170人)

シンポジウム 13:30~17:10 (参加者約150人)

基調講演:「ウェブ社会からファブ社会へ」ファブラボジャパン発起人・慶大准教授 田中浩也氏

基調講演:JST(科学技術振興機構)科学コミュニケーションセンター事務局長 長谷川奈治(たいじ)氏

事業紹介:ものづくり道場の歩みーファブラボとっとりへ

ものづくり協力会議会長・鳥取大学地域学部教授 土井康作氏

パネルディスカッション:「これからのものづくりに期待すること」

モデレーター(司会):土井康作氏

パネラー:須藤敏昭氏(元大東文化大学長)、森下一期氏(和光学園理事)

杉浦裕樹氏(ファブラボ関内、NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ代表理事)

門田和雄氏(ファブラボ関内ディレクター、東京工大附属科学技術高校教諭)

アドバイザー:田中浩也氏

交流会 18:00~20:00 (参加者約50人)

ファブラボ見学ツアー (鹿野街道の城北高校運営ファブラボにもご案内しました)

9:30~11:30 (参加者約40人)

手づくりまつり 10:00~12:00 (参加者約90人)

ファブラボ体験ワークショップ 14:00~16:30 (参加者約60人)

### (4)参加者の感想

- ・これまであまり関心がなかったが、ものづくりがより身近なものであると感じた。
- ・家でも出来る単純なものづくりを通して、生きる力を身に付けていきたい。
- ・必要な道具が十分に用意されており、市民が手軽に利用できるすばらしい施設。
- ・最先端の道具でもものづくりの浸透を進めながら、手の感触、技術を重視する姿勢がとても良い。
- ・ものづくりを経験する事が、経済活動ではなく、人のつながり、人間の形成等に向かってほしい。
- ・地方のファブラボの特色を生かして下さい。ものづくりネットワークが広がることを期待している。

## 3 今後の展開

今後確立する指導法等の運営ノウハウと、拡充予定の持ち運び可能なデジタル工作機を活用して、中・西部への普及を図っていきます。

当日の様子

5月17日(土)

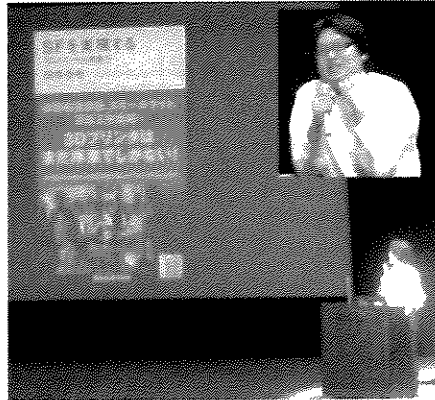
◇ファブラボ見学ツアー12:40~13:10(参加者約170人)



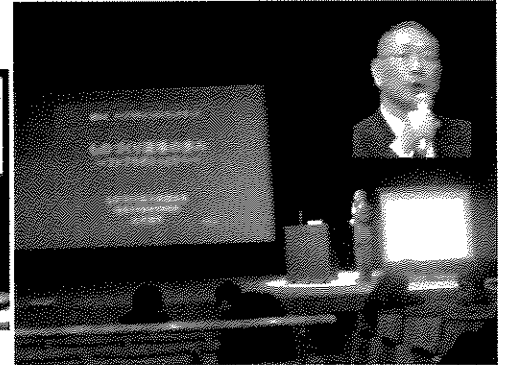
◇シンポジウム 13:30~17:10(参加者約150人)

基調講演:「ウェブ社会からファブ社会へ」

ファブラボジャパン発起人田中浩也氏



基調講演:JST 長谷川奈治氏



事業紹介:土井康作氏

パネルディスカッション:

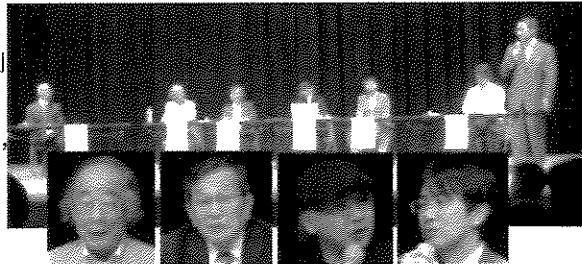
「これからのものづくりに期待すること」

モデレーター(司会):土井康作氏,

パネラー:須藤敏昭氏, 森下一期氏,

杉浦裕樹氏, 門田和雄氏

アドバイザー:田中浩也氏



◇交流会

18:00~20:00

(参加者約50人)



5月18日(日)

◇ファブラボ見学ツアー9:30~11:30(参加者約40人):FabLab@もとうお(鳥取城北高校独自設置ラボ)



◇手づくりまつり

10:00~12:00(参加者約90人)

◇ファブラボ体験ワークショップ

14:00~16:30(参加者約60人)

記念写真:全国に仲間ができました!



## 鳥取・兵庫両県往来氷ノ山交流登山ツアーの実施について

平成26年5月21日  
東 部 振 興 課

平成24年3月に若桜町で開催された鳥取兵庫知事会議において、両県が県境を越えての交流・連携の取組をいっそう推進していくことが確認され、鳥取県では氷ノ山を両県一体の山として関西圏の住民に注目してもらい、両県の地域の振興を図るため、「氷ノ山県際交流推進事業」の取組を行っています。

その取組の1つとして、「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会」が中心となって、グリーンシーズンの氷ノ山を満喫できる両県交流ツアーが企画されたものです。

### 1 ツアー内容

(1) 旅行日 平成26年6月1日(日)

(2) 行 程

#### 【鳥取県側登山コース】

・鳥取県側から入山し、登頂後は「兵庫県側登山コース」のみなさんと交流した後に兵庫県側に下山し、兵庫県但馬エリアを観光後、鳥取県内で解散する。

#### 【兵庫県側登山コース】

・兵庫県側から入山し、登頂後は「鳥取県側登山コース」のみなさんと交流した後に鳥取県側に下山し、鳥取県因幡エリアを観光後、兵庫県内で解散する。

(3) 旅行代金 2,000円

(4) 募集人数 各コース 30名 (両コースとも定員に到達。)

(5) 申込先 (株)農協観光鳥取支店

### 2 ツアーのポイント

- ・同じルートを往復せず、登山後に県境を越えて下山し、そのまま帰宅できるという、個人旅行では実現が難しい登山ルートを味わうことができること。
- ・日帰りで観光地をめぐるとともに、登山を行う格安料金のツアーであること。
- ・鳥取・兵庫の交流企画として2回目の開催となる今年は、鳥取県側の夏山開きの日に催行し、山頂での神事もご覧いただくことができること。

### 3 実施体制

- ・わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会(事務局:若桜町産業観光課)が旅行会社に委託して実施する。
- ・わかさ氷ノ山自然ふれあいの里活性化協議会は鳥取県(東部振興監)、若桜町、兵庫県(但馬県民局)、養父市と連携して実施する。